

復職し、
自立した生活
を取り戻したい！

事例の
ご紹介



Aさん

50代女性

〔要支援：1〕

プロフィール

夫と同居。脳卒中となり、片麻痺となった状態で、医療機関に入院後自宅退院。しげい通所リハビリテーション事業所を90分で週1回利用を行う。

介入後の経過と効果

生活行為向上リハビリテーション実施加算の活用し、環境やバス利用の課題を自分で考える工程をサポートしながら、月に1回Aさんとリハスタッフが一緒にバスに乗り、駅や図書館まで行く練習を繰り返し行いました。開始から6ヶ月で目標が達成し、通所リハビリテーション事業所を卒業。



工夫した点

- ▶ 生活行為向上リハ加算を利用し、目標に合わせリハスタッフと一緒に実際の場面で練習ができます。
- ▶ 健康運動指導士によるパワーリハの機器負荷を設定し、機能向上に合わせ負荷量を調整することで、無理なく筋出力をあげることができます。

